



<講座報告>

大阪府立箕面支援学校における性に関する指導

大阪府立箕面支援学校 首席 養護教諭 李容司先生

李先生が高等部の生徒に指導している内容や指導上大切にしていることを教えていただきました。李先生ご自身も悩みながら指導や実践を積み重ねておられると話し、実際に生徒に指導している内容やパワーポイントのコンテンツをたくさん紹介してくださいました。

1 性に関する指導をする前に準備したこと

- ①「社会に出た時に困らないように」ということを大前提に内容を考えて準備した。
- ②大阪府教育委員会が作成している性に関する指導の参考冊子である「一人ひとりの生と性」を読んで学校教育で必要な情報を集めた。
- ③東京都教育委員会が「性教育の手びき」を作成し、改訂版が出された。この冊子もわかりやすく、準備時に活用した。
- ④指導にあたっての配慮として、(1)発達の段階をふまえること(2)学校全体で共通理解を図ること(3)保護者の理解を得ることなどが大切。
- ⑤教員の想いとして、子ども達に身につけてほしいことを整理し、教員間で共有した。
- ⑥保護者にも指導内容をお知らせし、りかいときょうりよくをお願いした。

2 性に関する指導を実際に授業するとき

- ①マイナスイメージだけを抱かせないように説明する。
- ②自分のことを知るために今の自分の1日のスケジュールを書き出し、赤ちゃんを生むためにどんな準備が必要かを考えた。
- ③小学校1年生時の自分の身長ひもを使い、体がこんなに大きくなったんだと実感させ、心にも成長があることを考えた。
- ④生活の中で起こったことをイラストにして、子ども達に考えさせた。
- ⑤SNSは日常的に触れているので、その事例も紹介した。
- ⑥「ルールはルール」として守るように指導する。
- ⑦被害者にならないように「いやだ」「にげる」「いう」ことができるようにさせた。

以上、

様々な教育の指導場面や研修の場で生かし行きたい、丁寧な、実例を交えたお話を頂きました。